

浸水から街を守る『いろは呑龍トンネル』

いろは呑龍新聞第2号～平成28年1月号～



いろは呑龍トンネルの見学に海外から来訪されました。



平成27年12月17日（木）に韓国から、平成28年1月13日（水）に中国から、いろは呑龍トンネルの視察に来訪されました。
外国人が安心して京都府を観光できるように、これからも浸水対策施設の整備を進めていきたいと思います。

<p>韓国視察①</p>	<p>韓国視察②</p>	<p>韓国視察③</p>
<p>いろは呑龍トンネルの仕組を熱心に質問されていました。</p>	<p>乙訓ポンプ場で、過去の台風における痕跡に注目されていました。</p>	<p>乙訓ポンプ場最下部で、貯留効果を実感されていました。</p>
<p>中国視察①</p>	<p>中国視察②</p>	<p>中国視察③</p>
<p>自国の浸水対策に活用できないか熱心に聞かれていました。</p>	<p>乙訓ポンプ場上部から見学され、スケールに驚いておられました。</p>	<p>乙訓ポンプ場最下部で、管渠の施工について熱心に聞かれていました。</p>

雨水南幹線を掘削するシールドマシン（掘削機）が工場で完成しました。

シールドマシン（掘削機）について、検査の後、運搬するために分解し、京都府流域下水道事務所に搬入します。搬入後、シールドマシンを組み立て、2月下旬に掘削開始する予定です。



シールドマシンの工場の状況①



シールドマシンの工場の状況②

<工事の進捗状況>

現在、発進立坑で掘進開始の準備をしています。

【雨水南幹線計画図】

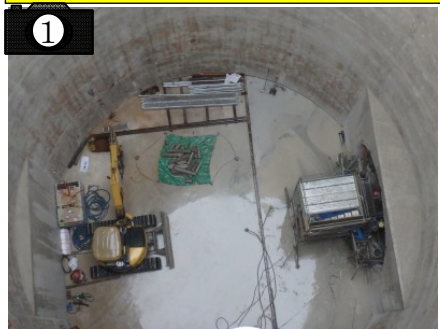
- 雨水南幹線 (未施工)
- 雨水南幹線 (施工済)

○雨水南幹線の概要

掘削延長：4,069m
 内径：3.5m
 土被り（深さ）：約20m
 掘進速度 初期 約6m/日
 本掘進 約13m/日
 到達 約5m/日
 工期：平成27年3月25日～
 平成31年3月25日



発進立坑内での掘削準備状況



門型クレーンの設置状況



土砂と汚泥を分離する設備状況

